

令和8年 月 日

品川区議会議長

渡辺 ゆういち 様

SDG s 推進・行財政改革特別委員会

委員長 松永 よしひろ

SDG s 推進・行財政改革特別委員会の活動現況について

今期のSDG s 推進・行財政改革特別委員会では、「SDG s に関すること」、「公共施設・公有地等に関すること」および「行財政に関すること」の3件を調査事項とし、以下のとおり委員会活動を実施しております。

○ SDG s に関すること

「SDG s に関すること」では「品川区SDG s 未来都市計画の進捗」および「推進体制（共創推進プラットフォーム、シティラボ、ファンド）」の2つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

「品川区SDG s 未来都市計画の進捗」では、令和6年10月に策定された品川区SDG s 未来都市計画について理事者より、SDG s 未来都市等進捗評価シートの指標の達成状況、内閣府自治体SDG s 推進評価・調査検討会による計画進捗評価ヒアリングの実施結果、計画の改定等の説明を受け、一人ひとりがウェルビーイングを実感できる先進的な取組を推進するために様々な提案を行いました。

「推進体制」では、しながわSDG s 共創推進プラットフォーム、しながわシティラボ、ウェルビーイング・SDG s 推進ファンド事業や中高生リバースマンター事業などについて理事者より説明を受けながら、7月、9月、11月および2月の計4回にわたって議論を重ねました。

また、11月には他自治体のSDG s に関する取組状況や推進体制についての調査のため、大田区への視察を実施しました。

○ 公共施設・公有地等に関すること

「公共施設・公有地等に関すること」では、7月、1月および2月の計3回にわたって、旧荏原第四中学校跡地を議題とし、サウンディング調査の実施結果やPFI事業に係る実施方針（案）等が理事者より示され、導入機能、施設規模、整備・運用手法等について調査を進めました。

また、7月には、公有地の調査のため「旧荏原第四中学校跡地」、「アイルしながわ」およ

び「旧第一日野小学校跡地」を視察し、1月には公共施設活用の実態調査のため、杉並区の「コミュニティふらっと高円寺南（ふらっとすぎはち）」を視察しました。

○ 行財政に関すること

「行財政に関すること」では「行政評価」、「ふるさと納税」および「DX」の3つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

「行政評価」では、事務事業評価および政策評価のそれぞれの基本的な考え方や実施状況、評価対象事業や分野などについて理事者より説明を受け、政策評価委員会の運営や経過等に関する質疑を行いました。2月には、令和7年度行政評価の結果を議題として、事務事業評価における部別評価結果および政策評価委員会から区に対する提言やその対応について報告を受け、事務事業評価に基づく事業のスクラップ・アンド・ビルドの考え方など、区民とともに進める新時代のしながわの実現のため、より実効性の高い施策展開について議論を深めました。

「ふるさと納税」では、ふるさと納税寄附額（流入額）・区税の減収分（流出額）の推移、現地決済型ふるさと納税「しながわe街ギフト」や「品川区ふるさと納税特設サイト」などについて理事者より説明を受け、品川区の特色を活かした返礼品の拡充に向けた意見を交わしました。

「DX」では、令和7年度における「しながわDX」の取り組みとして改訂された「DX推進基本方針」を議題とし、サービス・地域・シゴト（行政）の3つの視点を軸とした11の重点施策について理事者より説明を受け、住民参加型プラットフォーム、デジタルデバイド対策やDX人材等の区のDX推進に関して、輝く笑顔 住み続けたいまち しながわを実現するための提案を行いました。

これらの調査・研究をふまえ、今後の品川区のSDGsの一層の推進、行財政改革のさらなる取組に活かしていただくべく、本委員会としてのまとめを作成し、提出いたします。

以上が、これまでの当委員会における活動現況の概要でありますので、ご報告いたします。

令和8年 月 日

品川区議会議長

渡辺 ゆういち 様

子ども若者支援・共生社会推進特別委員会

委員長 せ お 麻 里

子ども若者支援・共生社会推進特別委員会の活動現況について

今期の子ども若者支援・共生社会推進特別委員会では、「幼稚園・保育園に関すること」、「若者に関すること」および「重層的支援体制に関すること」の3件を調査事項とし、以下のとおり委員会活動を実施しております。

○ 幼稚園・保育園に関すること

「幼稚園・保育園に関すること」では「区立・私立幼稚園・保育園のあり方」および「特別支援保育」をテーマに、調査・研究を行いました。

幼稚園および保育園は、抱える課題が異なることから、議題を分けて取り上げ、7月2日および7月29日に区立・私立幼稚園を、8月および9月に区立・私立保育園および特別支援保育を議題とし、計4回にわたって議論を重ねてまいりました。

就学前人口の推移、利用状況、教育・保育の量の見込み、取組等について理事者から説明を受け、幼稚園および保育園のあり方や求められるサービス、施設の改修などについて意見が交わされ、委員から様々な提案がされました。

併せて、7月29日には利用者数が減少傾向にある区立幼稚園の調査として品川区立城南幼稚園を、9月には児童発達支援併設の認可保育所であるウィズブック保育園西五反田を視察し、施設の見学や現場職員との意見交換などを通じて、実態の把握に努めました。

○ 若者に関すること

「若者に関すること」では、「自立・社会参加」、「相談」、「居場所」、「孤独・孤立」をテーマに、調査・研究を行いました。

「子ども若者応援フリースペース」、「エールしながわ」および「ヤングケアラー支援事業」を中心に調査を行い、11月、1月、2月の計3回にわたって議論を重ねてまいりました。

11月には、「重層的支援体制に関すること」と一括して議題とし、不登校や引きこもり、ヤングケアラーの現状と課題、今後の方向性等について理事者から説明を受け、子ども若者応援フリースペースの利用状況、ヤングケアラーへのアウトリーチなどについて質疑を行いました。

1月には、「子ども若者応援フリースペース」へ視察を行い、施設見学および施設代表者との意見交換等を通じて、子ども・若者が抱える悩みや相談・支援事業などについて調査を行いました。

○ 重層的支援体制に関すること

「重層的支援体制に関すること」では、「属性を問わない相談支援体制」および「社会参加支援」をテーマに、調査・研究を行いました。

「重層的支援体制整備事業」および「孤独・孤立対策」を中心に、11月6日および11月27日の計2回にわたって議論を行いました。

11月6日には、福祉部福祉計画課が主催する重層的支援体制整備事業に関する地域・民間向けの研修に参加しました。重層的支援体制整備事業を体験的に学べる「コミュニティコーピング（ボードゲーム）」および研修参加者との意見交換を通じて、地域支援や多機関協働への理解を深めました。研修終了後には、重層的支援体制整備事業における各事業および令和7年度以降の本格実施後の取組等について理事者から説明を受け、複合課題を抱える区民への相談・支援体制等に関する議論を行いました。

11月27日には、「若者に関すること」と一括して議題とし、孤独・孤立対策推進法の概要、区の取組・各事業、今後の方向性等について理事者から説明を受け、国の動向やオンラインカウンセリング事業などについて質疑を行いました。

これらの調査・研究をふまえ、今後の品川区の子ども若者支援および共生社会の推進に活かしていただくべく、本委員会としてのまとめを作成し、提出いたします。

以上が、これまでの当委員会における活動現況の概要でありますので、ご報告いたします。

令和8年 月 日

品川区議会議員

渡辺 ゆういち 様

まちづくり・公共交通推進特別委員会

委員長 のだて 稔史

まちづくり・公共交通推進特別委員会の活動現況について

今期のまちづくり・公共交通推進特別委員会では、「新庁舎および大井町駅周辺地区に関すること」、「八潮・勝島のまちづくりに関すること」および「地域公共交通に関すること」の3件を調査事項とし、以下のとおり委員会活動を実施しております。

○ 新庁舎および大井町駅周辺地区に関すること

「新庁舎および大井町駅周辺地区に関すること」では「新庁舎」、「現庁舎跡地等」、「大井町駅周辺地区社会実験」および「帰宅困難者対策」について、調査・研究を行いました。

「新庁舎」では、品川区新総合庁舎整備工事の契約に際し、理事者より工事発注までの検討経過や区民説明会の開催結果、設計概要、今後の工程などについて説明を受け、新庁舎に備えるべき窓口機能やアクセシビリティに関する議論や提案を行いました。

「現庁舎跡地等」では、9月、11月、2月の計3回にわたって、理事者より庁舎跡地活用に関する対話型市場調査や学識経験者のヒアリング、これまでに開催された品川区庁舎跡地等活用検討委員会等の結果を踏まえた広町地区のまちづくりの進捗についての説明を受け、事業手法の方向性や今後のスケジュール等を示す「庁舎跡地活用の基本的な考え方」に関する議論や提案を行いました。

「大井町駅周辺地区社会実験」では、「ウォーカブルなまちづくり」をテーマとした管外視察（千代田区）を行いました。また、大井町駅周辺の日常的な賑わい創出と回遊性の向上に向け、車道の一部を歩道化する社会実験について、理事者より概要説明を受け、各種調査の手法やAIカメラの活用、今後の事業スケジュールなどについて、議論を深めました。

「帰宅困難者対策」では、理事者より災害時における一時滞在施設、広域避難場所等として、東日本旅客鉄道株式会社が保有する民間施設（OIMACHI TRACKS、TRACKS PARK）を活用するための協定の締結について、説明を受け、防災備蓄品の配備や発災時の避難者の誘導などについて、質疑を行いました。

○ 八潮・勝島のまちづくりに関すること

「八潮・勝島のまちづくりに関すること」では、「水辺利活用」、「人道橋」、「花海道」、「にぎわい創出」などについて、調査・研究を行いました。

まず、立会川・勝島地区まちづくりビジョンに基づき、当該地区における事業の現況について説明を受け、東京都や周辺企業との連携、にぎわいの創出について議論を行いました。

「人道橋」では、(仮称)勝島人道橋の整備に関するこれまでの経過について、理事者より説明を受け、今後の事業計画や費用、回遊性・利便性の向上といった観点からの質疑や提案を行いました。

「水辺利活用」、「水上交通整備」、「花海道」などに関する「にぎわい創出」では、橋梁のライトアップや栈橋の活用、花海道を含む護岸の整備等に関して、議論を深めるとともに、さらなる魅力の向上や設備の維持管理等について提案を行いました。

○ 地域公共交通に関すること

「地域公共交通に関すること」では、「路線バスおよびコミュニティバス」、「デマンド交通」および「自転車活用推進計画」について、調査・研究を行いました。

「路線バスおよびコミュニティバス」では、バスの運行状況、経営状況の悪化や運転士不足などの課題、課題を踏まえた今後の取組などについて、理事者より説明を受け、コミュニティバス運行における利用率や収支率の改善に向けた議論を行いました。

「デマンド交通」では、荏原地区にて令和7年7月9日より実証運行を開始したA I オンデマンド交通「しなるん」の運行状況や課題、今後の取組み、大崎地区での実証運行に向けた検討状況について、理事者より説明を受け、さらなる利便性の向上や継続的な運行の観点から議論を行いました。

「自転車活用推進計画」では、令和5年度に策定された品川区自転車活用推進計画の概要や「まもる」、「とめる」、「はしる」、「いかす」などの4つの推進目標における重点施策や進捗状況などについて、理事者より説明を受けました。自転車通行空間の整備や駐輪場の確保など、安全性や利便性の向上の観点から質疑や提案を行いました。また、電動キックボードに関する取扱いや4月から施行される自転車への交通反則通告制度(青切符)などについても、質疑を重ね、理解を深めました。

これらの調査・研究をふまえ、今後の品川区のまちづくりおよび公共交通の推進に活かしていただくべく、本委員会としてのまとめを作成し、提出いたします。

以上が、これまでの当委員会における活動現況の概要でありますので、ご報告いたします。